

## 「情報モラル教室」学習のまとめ（掲示用）

夏休みを前に、最近のスマートフォン等の問題やトラブルを学習し、未然防止につなげることを目的として「情報モラル教室」を実施しました。これらのトラブル、事案は、年々変化しているため、新しい情報で継続的に学習していく必要があります。みなさんが知らない新たな危険もたくさん生まれています。

今回学んだ内容を以下にまとめましたので、今一度ふりかえってみましょう。「自分を守るための生きる力」として、これからは生かして行ってください。



- ★ 事故にあわない、起こさないために、自転車乗車中の携帯電話の禁止（佐賀県条例違反）罰金5万円。
- ★ 安易に公の場で言う（ネットに書き込む）と法令違反（犯罪者）になってしまう事案がとても多い。「大人も子どもも知らなかったではすまされない」正しい知識をもち、自分を守ることがとても重要。
  - 《名誉棄損罪》 「〇〇〇は、万引き犯だ。」「〇〇〇は、いじめの中心人物だ。」等
  - 《侮辱罪》 「〇〇〇は、気持ち悪い。うざい。きもい。」「〇〇〇は、嫌なやつ。」等
- ★ 匿名での書き込みや投稿であっても、誰が出したものなのかすぐにわかってしまう。ふざけた写真や人を傷つける書き込み等を絶対にネットに載せてはいけない。知らない間に、あっという間に、世界中にとて速く、広く伝わってしまう。そうならないために公開範囲の制限で設定しておくことは重要。
- ★ スマートフォンで撮った写真には、位置情報が隠れている。写真をアップして、悪い人に住所等の個人情報を知られないためには、位置情報をOFFにしておく。
- ★ 「あなたの書き込みは世界中から見られている」「いったん公開した情報は永遠に消えない」「その書き込みをインターネットは永遠に忘れない」自分が安易に載せた情報に、一生苦しめられる危険性もある。訴えられたら、子どもだから大丈夫、許されるものでは決してない。「一時的なノリや楽しさでアップしました。」ではすまない。
- ★ 様々な情報に踊らされない。うのみにしない。簡単に受け入れない、信用しない。情報には、うそや偽りもある。本当のことかどうかを判断できる力、正しく判断しようとする日頃からの意識、心構えが必要。
- ★ 相手の顔が見えないことの恐ろしさを認識する。ネット上の写真や文章だけでは、相手の本当の姿はわからない。「なりすまし」でだまされるケースも多発している。「世にはびこる魔の手はあなたのすぐ近くにある」安易に会員登録、メールアドレス登録をしない。悪質なワンクリック請求は無視する。たとえ相手から「会いましょう。」と誘われても、絶対に会いに行ってしまうはいけない。犯罪に巻き込まれず、被害に合わないためには、見えない相手の求めや請求に応じず、親、学校（警察）に必ず相談をする。

